

図書案内

2021 年 10 月号

担当 2-2 細川 2-7 嶋之内

題名に「10」が入っている本

10 月になり、本格的な秋になりましたね。肌寒くなり、家で過ごすことも増えたのではないのでしょうか。そんな毎日にぴったりの 4 冊を紹介します。今回のテーマは、10 月にちなみ、題名に「10」が入っている本です。ぜひこの機会に読んでみてはいかがでしょうか。

本は図書館で貸出しています。



『10年交差点』

中田 永一 ほか

「10 年」に関わる 5 話を集めた短編集。時間を飛びこえる懐中時計を手に入れた男の話。自分の未来は真っ暗だとグレてしまった少女の秘密。妊娠できない女性の恋愛。さまざまな登場人物が織りなす、最後まで展開が読めない話を楽しむことができる。いろいろなジャンルの話を一度に読みたい人におすすめの、読書の秋にぴったりの一冊である。（細川）

必要ならもう十年費やしてでも、二人が孤独を分かち合いながら一緒に歩めるのかを確かめていきましょう。



『1日10分のごほうび』

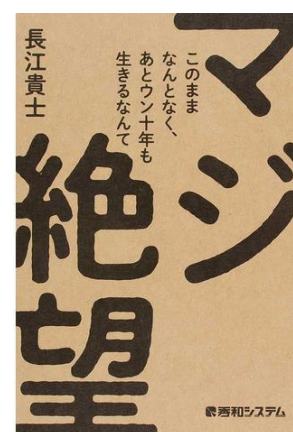
赤川 次郎 ほか

最後の展開にあっと驚く話。暗いはずの状況も何故か滑稽に感じられる話。なんだこれ、と方向性が独特で世界観がよく分からない話。ひたすらに空気感が好きだなあと思ったり、ああ、こんなことあるよなあと感じたり。

作家総勢 8 名によって描かれる 12 のお話。彼、彼女らの見えている世界に文章を通して触れます。

1 日 10 分、ほっと息をつきたいときにいかがですか？（嶋之内）

もし、私が過去にタイムスリップして、どこかの時代にいけるなら、私は私が椎茸だったころに戻りたいと思う。

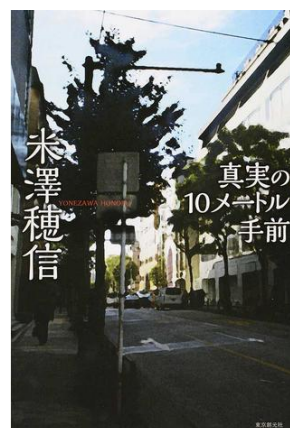


『このままなんとなく、あとウン十年も生きるなんてマジ絶望』

長江 貴士

学生時代から生きづらさを感じていた著者が送るエッセイ。芸人や有名人の言葉とともに、生きることにしんどさを抱えている人々へのアドバイスが具体的に書かれている。「進路がなかなか決まらない」「やりたいことが見つからない」「自己肯定感が低い」といった悩みを持っている人はぜひ読んでみてほしい。少し心が軽くなると思う。（細川）

あなたを不幸にしているのは、あなたの「考え方」。



『真実の10メートル手前』

米澤 穂信

ある企業が倒産し、行方の分からなくなった早坂真理を探す、新人ジャーナリストの藤沢と先輩の大刀洗。真理の行方を案じる妹。ほうとう屋での出会い。探し求めていた真実は 10 メートル先……。

どこか人と違う雰囲気を持ちながら、読み進めるにつれて明らかになっていく大刀洗の人間味に惹かれます。そんなジャーナリスト大刀洗万智の活動をつづった 6 編。（嶋之内）

わたしはその人たちに、真理の言葉を伝えたいのです。

数字として可視化してみると……

「毎年約 800 万トン」これは一体何の数字でしょうか？ 答えは、海に流れ出しているプラスチックごみの量です。800 万トンは、ジャンボジェット機 5 万機分に相当するそうです。他にも、「日本のプラごみリサイクル率は 27.8%」「プラごみの 94%は海底にあり、海岸に打ち上げられるのは全体の約 5%」など、衝撃的な数字は沢山あります。普段あまり意識しないごみ問題ですが、このように具体的な数字に表すことで、私たちが現状を理解することが可能になります。統計数字が絶対とは言えませんが、数字を目にすることで向き合っていかなければならない問題もこの世には存在しています。皆さんはこれらの数字を見てどう思いましたか？

【参考文献】日本財団ジャーナル「増え続ける海洋ごみ」 政府広報オンライン「海のプラスチックごみを減らしきれいな海と生き物を守る！」 環境省 水・大気環境局「海洋ごみ問題について」